

自立・自律・協力
力を合わせて

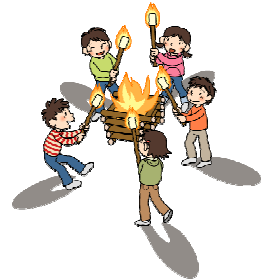
4年 野外活動「奥志摩みさきの家」 (10/11・12・13)



「マイム、マイム、マイムベサソ！」大きな声が浦山に響きます。満天の星空が輪になって踊る子どもたちの中心にある炎に照らされています。そこは、テレビやゲームなどの機械にあふれた日常からはなれ、時が止まったような幻想的な雰囲気でもたされています。

10月11・12・13日に4年生は三重県の奥志摩みさきの家での野外活動に行きました。この2泊3日で、子どもたちと確認した大きなめあては3つです。それは、「自立、自律、協力」です。

まず「自立」です。荷物の整理、着替えや食事の後片付けなど、自分のことは自分でやることをがんばりました。その中で、全ての物に小さな文字で名前が書いてあったり、活動ごとの着替えが袋でまとまっていたりすると、保護者の方々の愛情を感じました。次に「自律」です。特に5分前行動をがんばりました。もうちょっとのんびりしたいという気持ちを抑えて、次の活動の準備をし、集合場所でグループごとに並ぶことができました。そのことで、学年全体という大きな集団がスムーズに次の活動にうつることができました。また、緊張感をもつことで、3日間大きなけがなく過ごせたのだと思います。最後に「協力」です。浦山ラリーや野外炊事など、グループでの活動をがんばりました。野外炊事では、野菜や肉などを切る係とかまどで火をおこし、煮る係に分担して一つのカレーを作りました。自分たちで作ったカレーはとてもおいしく感じ、普段野菜が苦手な子もペロリと平らげることができました。



テントの中の寝袋での就寝や磯観察での水生生物の観察など貴重な体験もたくさんできました。自然あふれるみさきの家での活動を通して学んだことを生かし、これからの学校生活で子どもたちがあの闇夜を照らすキャンプファイヤーの炎に負けない輝きを放ってくれることを期待しています。(4年学年主任 上原 誠)

みんなで楽しく！ お年寄りと子どもの
ふれあい広場

10月25日(土)に“お年寄りと子どものふれあい広場”が開催されました。140名のお年寄りと共に楽しいひとときを過ごしました。

来賓のごあいさつの後、子ども六斎の力強い太鼓の演奏と大型紙芝居を楽しみました。今年の紙芝居は、「さらやしきのおきく」を感情こめて読み手の子どもたちが熱演しました。子ども六斎の子どもたちにも、大型紙芝居にもお年寄りから大きな拍手がおくられました。

その後、会場に集った人たち全員で「音のワークショップ」がありました。

身の回りにある道具(ペットボトルや手製マラカスなど)を使って、教えていただいたリズムを打ちました。

表打ちと裏打ちのリズムがうまくかみ合って、上手な演奏ができました。



楽しい体験がいっぱい！ スマイルたかくら

お年寄りと子どものふれあい広場に引き続き、「スマイルたかくら」が行われました。

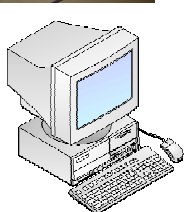
オープニングは、京都御池中学校吹奏楽部の演奏からです。“パイレーツ・オブ・カリビアン”“キセキ”の2曲を披露してもらいました。

オープンスクールでは、“学園天国”を演奏してから「楽器体験」に入りました。

子どもたちは、自分の興味のある場所で楽しく過ごすことができました。「お茶会体験」「おもしろ科学実験」「デジタル達人マップ」「防災体験」などの体験学習の場を行ったり来たりしていました。中には、終わりの時間までずっと同じ場所で過ごす児童の姿も見られました。

また、ムーミンコーナーでの名作物語クイズに挑戦したり、あいさつの取組の紹介パネルをじっくり鑑賞したりする姿も見られました。

子どもたちにとって、盛りだくさんの楽しい一日となりました。



みんなであいさつ 元気よく

朝、「おはようございます」と元気な声が玄関のアプローチに響いています。5年生のあいさつ運動実行委員会の子供たちです。元気な「おはようございます。」が返ってきています。

校舎に掲げられた垂れ幕「あいさつあふれる高倉校」に、みんなの力でしていきたいと考えています。



子どもたちは、精一杯がんばりました。

10月23日に行われた研究発表会には、全国から大勢の参観者がありました。子どもたちが生き生きと学習している様子を参観していただきました。

子どもたち自身が司会を立てて自主的に学習を進める授業形態や、子どもたち同士が自分の考えをしっかりと伝え合っている姿を見て、参観者の方々からお褒めの言葉をいただきました。

たくさんの方に研究発表会の運営にご協力いただきました。ありがとうございました。